



健康

遠藤誠 議員 (WAKABA)

ドア to ドアのライフスタイル

答弁…将来のまちづくりを一体的に考えていく

問 自家用車というドアtoドアの生活に我々は浸かっているという認識を持つべきであり、そうでない生活を描くことも必要ではないか。ドアtoドアで個室を好み、歩かない、待つことのない生活を心身の健康の面から見直すべきではないか。LRTは乗り場まで歩く。

答 市では、誰もが拠点に移動できる環境づくりを目指している。ウォークブルなまちづくりや公共交通ネットワークづくり、健康づくりの支援等、将来のまちづくりを一体的に考えていく必要がある。多様な関係者と連携し、行政が果たすべき役割を明確にする。



芳賀・宇都宮
ライトレールランジット(LRT)

地域 代表者を選ぶこと

答弁…公平で公正な方法を検討する

問 行政区長会の代表を選ぶとき旧3地区から何人かを選び、その中で互選していたが、今でもそうなのか。それでは秘密会になるのではないか。45人の直接選挙等としてオープンにした方がよいのではないか。

答 日勝地区、篠津地区、大山地区から理事を互選で選出した後、会長等の役員を理事の互選により選出し、総会の承認を得ている。全区長から選出する方法も公平性の観点から有効なものとする。役員の選出方法がより公平で公正なものとなるよう検討していく。



地域

黒須大一郎 議員 (白和)

大山小は緊急手術が必要な状況ではない

答弁…大山小児童の教育環境をより良いものに

問 統合先も廃校後の地域振興策も示さず関連する教育政策さえ未策定である。研究機関のデータによると、地域に深く根付く小学校が消滅することは長期にわたり人口流出に影響するという。なぜ廃校を全面的にするのか。市長に問う。「どうする大山地域」

答 大山小学校の児童数の減少は著しく、1日でも早い対応をしなくてはならないと考えていた。大山小学校の子どもたちのことを第一に考え、教育環境がより良いものとなるように、7年3月末をもって大山小学校を統廃合する決断をしたものである。



大山小学校の
イングリッシュキャンプ

政策 四つの約束のnext stepは何か

答弁…四つの約束の実現に全力を傾注していく

問 市長選挙で掲げた四つの約束を柱とした事業推進計画を市民が理解しやすいように具体的な事業等を明示して行うべきではないか。さらに、そのnext stepを示すべきではないか。

答 四つの約束は総合振興計画に溶け込んでおり、計画に基づいた街づくりにより約束が実現する。また、柔軟・スピーディー・臨機応変な事業推進も重要である。

next stepの前に、まずは、現在取り組んでいる各種施策に全力を傾注していく。